

令和 8 年度 第 1 回米原市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日 時	令和 8 年 7 月 29 日（水）午後 7 時から午後 9 時	
場 所	米原市役所 本庁舎 1 階 コンベンションホール	
出席者	委 員	伊藤誠紀委員、瀧上啓志委員、宮崎砂千子委員、石光ルリ子委員、山本正子委員、松原恵照委員、谷口周作委員、田中雄一委員 （欠席：久保健次委員、吉田洋子委員）
	事務局	健康福祉部 : 宮野 米原市地域包括支援センター : 今村、夏原、祖父江、富士原、入戸野、井尻、成田 米原近江地域包括支援センター : 山添センター長、橘、桐山、中川、内藤、尾川 山東伊吹地域包括支援センター : 今井センター長、川瀬、高居、原 認知症初期集中支援チーム : (今井)、堺 高齢福祉課 : 五十嵐
議 題	地域包括支援センター 協議・報告事項 (1) 地域包括支援センターについて 資料 1 (2) 令和 7 年度地域包括支援センター決算見込み状況・実績報告 資料 2 (3) 令和 7 年度地域包括支援センター事業評価結果 資料 3 (4) 令和 8 年度地域包括支援センター運営方針・予算の状況・事業計画 資料 4 (5) 米原近江地域包括支援センター・山東伊吹地域包括支援センター 令和 7 年度実績報告および令和 8 年度事業計画 資料 5 (6) 指定介護予防支援事業および介護予防ケアマネジメント業務の 一部委託に係る指定居宅介護支援事業所について 資料 6 地域ケア推進会議 (1) 身寄りのない人の支援に関するワーキング会議計画 資料 7 認知症初期集中支援チーム検討委員会 (1) 令和 7 年度認知症初期集中支援チーム実績報告 資料 8 令和 8 年度認知症初期集中支援チーム事業計画 資料 9	

地域包括支援センター 協議・報告事項

- (1) 地域包括支援センターについて
- (2) 令和 7 年度地域包括支援センター決算見込み状況・実績報告
- (3) 令和 7 年度地域包括支援センター事業評価結果
- (4) 令和 8 年度地域包括支援センター運営方針・予算の状況・事業計画
- (5) 米原近江地域包括支援センター・山東伊吹地域包括支援センター
令和 7 年度実績報告および令和 8 年度事業計画

委員	・資料 2 の総合相談支援事業、総合相談実績について、この相談件数というのは他市町のセンターと比べて多いものなのか。高齢者の方、相談の対象になるような方と比べて、相談件数が十分な実績になっているのか教えてほしい。 ・高齢者虐待防止に関して、通報された後、虐待なしと判断されている件数が 12 件あるということ
----	--

事務局	だが、虐待なしと判断された後のフォローはなにかされているのか教えてほしい。 ・総合相談件数について、他市がどのぐらい相談件数があるのか把握ができていませんので、明確にお答えすることはできないのですが、米原市の高齢者人口が約 1 万人いらっしゃいます。その中で、年間の相談件数が約 1,000 件あるので、高齢者の人口と比べると相談割合は約 10%という現状になっています。これが多いか少ないかというところですが、ニーズ調査というものを 3 年に 1 回実施しておりまして、そこで地域包括支援センターの認知度を聞いております。その中で知っていると答えられた方が 37.8%、相談したことがあるという方が 1.3%、合わせて 39.1%という結果になっており、認知度は約 4 割程度で、認知度がまだ低いということもあるので、相談件数は少ないのではないかと考えております。この点については認知度を高めながら相談件数を増やしていき、気軽に相談できるセンターであるということを周知していきたいと考えています。 ・虐待なしと判断したケースについてですが、虐待には継続性や一方性があるという特徴があります。そのため、単発で起こったものについては、その時の一時的な感情や突発的な反応、感情的な一時的行為として捉え、虐待と判断していない場合があります。また、認知症のある高齢者の方から配偶者の方への行為について、認知症による行動障害が原因で手が出ているようなケースについても、虐待の事実なしと判断しています。例えば、アルツハイマー型認知症の診断が出ており、認知症による行動障害により手が出ているケースについては、認知症初期集中支援チームや地域包括支援センターが引き続きその方への支援を継続しています。また、虐待なしと判断したケースについては、地域包括支援センターからその後の経過を確認したり、介護保険につながっている方であれば各事業所に本人の様子を確認したりしていただけるようにし、支援が途切れないよう体制を整えております。
委員	・相談実績については、先ほどのお話のように認知度に関わるものと思うので、相談件数が多ければよいというわけではないものの、ある程度相談件数が上がっているということは、センターとしての実績として考えてよいかと思う。虐待については、継続性の問題があるため、単発的と判断した後に継続するようであれば、それは継続性があるということなので、フォローが大事だと感じた。
委員	・男性介護者の集いについて、私自身、両親や叔父叔母の介護をした経験があるが、その時にはこのような集いはなかった。昨年度の実績はどのくらいか知りたい。
事務局	・昨年度の実績は 1 回の開催です。昨年度の途中に関わりのあるご家族から「米原市にも男性が気軽に相談できるような集いが欲しい」との声をいただきました。それを受け、高齢福祉課に地域包括支援センターから相談し、立ち上げを進めました。声を上げてくださったご家族の方が発起人になってくださることとなり、会議を 3 回ほど行ったうえで、3 月に第 1 回を開催しました。まだ周知が十分ではなく、特に男性の方には案内しても参加していただけないケースが多い状況です。今後も、参加してくださった方や、介護者を最も近くで見ておられるケアマネジャーから意見をいただきながら、より良いものとなるようブラッシュアップし、継続していきたいと考えております。
委員	・予算の点で、介護保険事業特別会計の人件費など、直営部分については昨年度より増額されている。一方、一般会計で委託に出している部分についても、昨年度から今年度にかけて増額になっている。今後の経営のあり方については、サポート費用や人件費高騰を踏まえると、再度それ

事務局	に応じた形で対応いただく必要があると思う。評価項目 A3 の表に記載されている「センターが実施方針に沿った事業運営ができるよう、運営予算を毎年見直していくこと」と連動して考えるべきだと思うので、検討いただきたい。 ・チームオレンジについて、昨年度の実績が 1 か所と書かれており、デイサービスを中心に取り組んでおられる中で、昨年度の運営協議会でもお願いしたように、個別での支援や展開の仕方について再度ご検討をお願いしたい。 ・ACP の具体的な推進の仕方を考えているのか。身寄りのない人への支援に関しても、意思決定支援研修と重ねてこられた中で、具体的にケアマネジャーや介護事業所に対して進めていく方法を考えているのであれば、教えてほしい。 ・ご指摘いただいた委託料の関係については、さまざまな状況を踏まえ、適正な委託料を設定していきたいと考えています。 ・まずチームオレンジについて説明します。資料 2 にチームオレンジの記載がございますので、そちらをご覧ください。チームオレンジは、認知症の人の悩みや家族の生活支援等のニーズを聞き取り、本人、家族、認知症地域支援推進員、認知症サポーターとともに活動に取り組める団体等と連携し、認知症の人の社会参加を推進する事業です。具体的には、認知症の本人が喫茶店に行きたい、畑をしたいといった、介護保険サービスではまかなえない部分について、認知症サポーターや行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会の認知症地域支援推進員と一緒に活動を行う事業となります。昨年度は 1 か所、事業所のご協力を得て実施しましたが、今年度はケアマネジャーに対し、4 月の連絡会及び個別アンケートを実施し、その声からチームオレンジにつなげられそうな活動がないか聞き取りを行いました。そこで見えてきた課題として、認知症は進行していくものであるため、タイムリーに動く必要があるという点があります。また、主任ケアマネ連絡会でもチームオレンジの認知度が十分ではないため、チラシ作成を行い、ケアマネジャー、認知症講座、お茶の間団体等を通じて、地域への発信を今年度は注力していきたいと考えております。 ・続いて、ACP の周知啓発についてご報告いたします。資料 4 の令和 8 年度事業計画をご覧ください。5 ページを開けていただきますと、ACP については在宅医療介護連携推進事業の中で、湖北医師会内にある長浜米原地域医療支援センターに事業の一部を委託しております。その中で ACP の啓発として、地域住民への普及啓発や医療介護関係者への研修を実施しております。市民への ACP の周知が十分ではないことに加え、それを支える医療・介護関係者が ACP 支援の力量を高める必要があると認識しております。そのため、今年度は湖北版の ACP の手引きを作成いただきましたので、研修を数回重ねながら啓発を進めていきたいと考えております。また、昨年度作成した ACP のチラシについても、市民への啓発を含めて活用を進めたいと考えております。まだ湖北地域の ACP・人生会議の認知度は低い状況ですので、今後も積極的に周知啓発を進めていかなければならないと考えております。
-----	---

(6) 指定介護予防支援事業および介護予防ケアマネジメント業務の一部委託に係る指定居宅介護支援事業所について

	指定介護予防支援事業および介護予防ケアマネジメント業務の一部委託に係る指定居宅介護支援事業所について令和 7 年度 2 回目の本協議会から変更がないため、承認は省略となりました。
--	--

地域ケア推進会議

(1) 身寄りのない人の支援に関するワーキング会議計画

委員	・資料にも書かれている「今後の検討の方向性」のところにある「単一の支援者のみに負担を集中させない」という点について、身に染みているところがある。身寄りのない方だけでなく、支援者はいるものの、その方が何もかも背負ってしまっているようなケースが患者さんやご家族にいらっしゃる。この点を含めて検討していただけることは大変ありがたいと思うし、身寄りがないというだけではなく、支援者が少ない方、1人しかいない方についても枠を広げて考えていただけるとよいと思う。
委員	・ACP に関してですが、介入する時期が重要だと感じる。介護が必要になってきて判断力が曖昧になってから支援してもらおうとしても、本人もよくわからないような状況になっていると思う。先進的に ACP を行っているところを見ると、医療にかかっている時点から主治医と将来的なことを話す機会がある。介護や要支援状態になる前に、医師会とも連携し、米原市だけでなく長浜市と米原市の医師会の中で、今後の人生会議や自分の方向性、支援の方向について医療と連携していくとよいのではないかと感じる。

認知症初期集中支援チーム検討委員会

(1) 令和7年度認知症初期集中支援チーム実績報告

令和8年度認知症初期集中支援チーム事業計画

委員	・資料8でも既に医療とつながっている方がほとんどであるという状況があるので、医療に関わっておられる段階から、先ほどのお話のように人生会議などについて働きかけを組み入れていっていただくとよいのではないかと感じる。今回の初期集中支援チームの中にもそうした部分を組み込んでいただき、本人がしっかりと自分の希望を伝えられる段階で、そのような機会があることを周知していただけると、より良いのではないかと感じる。
----	--

その他

事務局	・追加資料として配布してある「いきいき高齢者プラン米原 第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定について」、担当者から委員の皆様へ説明し、第10期計画に向けた課題についてのご意見、ご提案を8月14日までに高齢福祉課へご提出いただくようお願い。 ・本会議における委員報酬等の支払いについて、振込通知は本人宛に郵送しないため、1か月以内に指定口座へ振込をするので、通帳等でご確認いただくようお願い。
-----	---

(了)